

# 広報 **おかわ**

2002

9/1

No.1173

主な内容

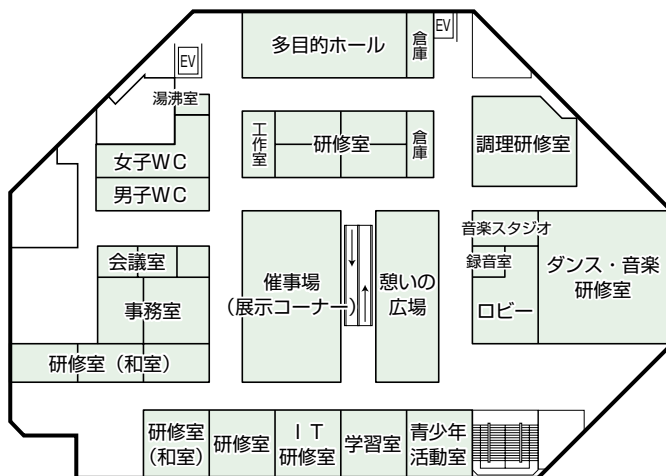
中央町再開発ビル基本設計  
東海地震防災対策強化地域指定  
市職員の給与等のあらまし

(太鼓祭り関連グラフ34~35ページ)



### 3 階

研修室、IT研修室、ダンス・音楽研修室、音楽スタジオ、多目的ホール、調理実習室、青少年活動室等を配し、子どもから高齢者まで市民の誰もが学べる場所とするとともに、公民館や婦人の家の機能も含めた社会教育の場所としての機能を持たせ、「生涯学習の活動拠点」として整備します。



3階催事場・吹き抜け回りの完成イメージ図



# 中央町再開発ビル整備の 基本設計がまとまりました

市では中央町再開発ビルの利用について、先に岡谷市生涯学習・福祉等施設懇話会からのご提言や、市民のみなさんからのご意見を基に「施設利用の基本構想」をまとめました。その後各区での市政懇談会や各種団体への説明会等を実施し、更に市民のみなさんのご意見をお聞きするとともに、施設の現況や構造を細部にわたり調査しながら基本設計に取り組んでまいりました。ここで「生涯学習・福祉等施設基本設計書（中央町再開発ビル）」がまとまりましたので、その内容についてご報告いたします。



4階の親子のプレイルームの完成イメージ図

## 4階

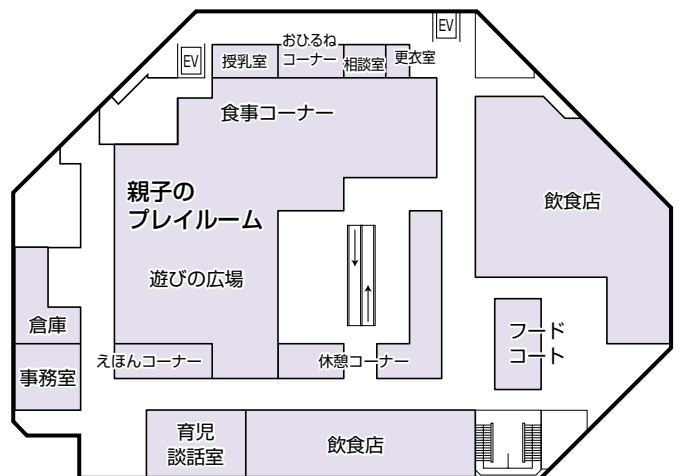
遊びの広場、えほんコーナー、授乳室、おひるねコーナー、相談室等を備えた「親子のプレイルーム」を設置し、子育て支援機能を充実するとともに、既存の飲食店のほかに飲食店、フードコート（セルフサービスの飲食店）を配し、食の機能も充実させてまいります。

## その他

中央町再開発ビルは商業ビルとして建設された建物であり、窓等の開口部が極めて少ないため、3階および4階の天井の一部を撤去しトップライトを設けることにより、3階および4階に自然光を取り入れます。

3階および4階の利用者の利便性を考慮し、建物北側にエレベーターを新設します。

以上が基本設計の主な内容ですが、市では今後この基本設計を基に改修工事に向けた実施設計に取り組み、その後改修工事を行う予定であります。



## 中央町再開発ビルに愛称をつけてください

中央町再開発ビルについては、1・2階は商業施設として既に営業を始めていますが、3・4階は公共施設として生涯学習施設や子育て支援施設を整備し、「賑わいの創出が図れ、魅力ある施設」として、平成15年3月に全館オープンする予定です。そこで、この建物を親しみやすいものにするため、市民の皆さんに愛称をつけてい

ただきたいと思っております。応募要領は次のとおりですが、市民の出会いの場、ふれあいの場として生まれ変わる施設にふさわしい愛称をお待ちしております。採用された方には記念品を贈呈します。

なお、市ではイルフ童画館や駐車場棟を含めた中央町再開発地区全体の名称を「イルフスクエア」として位置づけていますので、このイメージに合った愛称を考えてください。

**募集期間** 9月30日まで

**応募方法** はがき、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号と愛称を1つ記入して、市企画課まで応募してください。

**応募先** 〒394-8510 岡谷市幸町8-1 岡谷市役所企画課

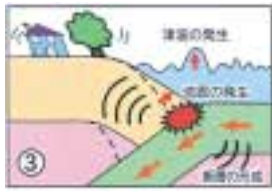
**FAX** 24-0689

Eメール [kk@city.okaya.nagano.jp](mailto:kk@city.okaya.nagano.jp)

※お問い合わせは、市企画課(☎23-4811 内線1523)まで。

9月1日は防災の日です！

# 地震」の 策強化地域』に指定されました



③ ひずみがその限界に達した時、陸側のプレートが跳ね上がり、地震が発生する。その際、津波が発生する可能性がある。



② 陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。



① 海側のプレートが年数cmの割合で陸側のプレートの方へ移動し、その下へ潜り込む。

## 東海地震が発生するしくみ

予想される東海地震はプレート境界で起きる「海溝型地震」とよばれています。

## 予想される大地震「東海地震」

駿河湾の海底には、大きな地震を起こす「震源域」があり、歴史的に百数十年程度の間隔で地震が発生しています。



●この地震への対応として、1978年に「大規模地震対策特別措置法」という法律が制定され、巨大地震を発生直前にキャッチして、被害を最小限にしようとする「体制」づくりが始まりました。

## 強化地域に指定

### (地震防災対策強化地域)

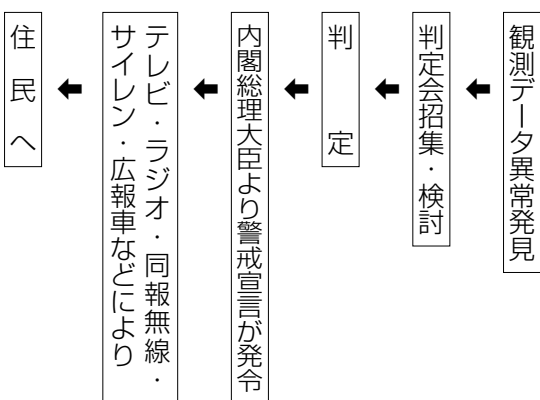
「東海地震」の強い影響を受ける地域として、8都県263市町村を指定しています。

## 「警戒宣言」体制

●「東海地震」の発生を事前に知る「体制」(制度)の大きな特徴は、「2〜3時間(または、2〜3日)内に東海地震が発生する」という予知にあります。これを「東海地震の予知体制」などおよび、世界ではじめてのことです。

●異常が現れたときには、即時に6人の専門家による検討がなされ、それが「東海地震」の発生を表すものだと判定されると、ただちに閣議決定事項として内閣総理大臣が「警戒宣言」を発します。

### 【警戒宣言が発令されるまで】





# 岡谷市は「東海」 『地震防災対』



〔阪神・淡路大震災（神戸市中央区）〕

## 『警戒宣言』の意味

1. マグニチュード8規模の大地震により「震度6以上の揺れに襲われ、建物などに大きな被害を受ける恐れがある」「海岸では大津波の危険がある」という警告。
2. 警戒宣言の発令により、各公共機関、民間会社・工場、家庭などが、計画にそって「地震発生に備えた対策を始めなさい」という警告。

## 警戒宣言が発令されたら？

交通機関や生活のライフライン、学校、銀行などは、地域防災計画に基づいて、適切な対応がとられることになっています。

### ●電気・ガス・水道

平常通り供給。関係事務所にて警戒体制。

### ●電話

可能なかぎり確保されるものの、状況に応じて規制。

### ●鉄道・バス・タクシー

ほとんどが運行休止。一部地域では減速運転などの安全確保を図りながら運行。

### ●病院（医院）

外来診療を中止。入院患者は、保護者による引き取りがある場合にはこれに対応し、保護者による引き取りがない場合には、近くの安全な場所に誘導。

### ●郵便局・銀行

店舗営業を停止、ATMによるキャッシュサービスの営業は継続。

### ●保育園・幼稚園・学校など

保育・授業は打ち切り、直ちに帰宅。臨時休園・休校。

### ●交通規制

国道、主要県道で、緊急交通路・輸送路に指定された路線は、状況に応じて一般車両の通行を規制。その他速度制限やマイカー走行の規制。

### ●百貨店・劇場

営業を停止し、買い物客、観覧客を外に誘導。

## 《9月7日（土）に地域ごとの防災訓練を実施します》

岡谷区会場の訓練…午前8時～ 岡谷区公会所

※区によっては開催日が異なりますので、区の訓練案内に基づいて参加してください。

## 行政機関・民間事業所の地震防災計画作成

岡谷市が東海地震防災対策強化地域に指定されたことから、市町村では「警戒体制」を示した『地震防災強化計画』の作成と、病院・旅館・デパートや不特定多数の人が出入りする施設、危険物を貯蔵または取り扱

う施設・事業所では、『地震防災応急計画』の作成が義務付けられ、その計画を県知事に提出しなければなりません。

特に、『地震防災応急計画』は、9月23日（月）までに諏訪広域消防岡谷消防署へ提出する

ようになります。作成に当たったの様式や届出書式は、岡谷市ホームページに掲載されていますので利用してください。  
(<http://www.city.okayama.nagano.jp>)

※問合せ先は、諏訪広域消防岡谷消防署 庶務課予防担当  
(☎22-01119)まで。